

平成24年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

平成 24年 3月23日
(社)日本アルミニウム合金協会

平成23年度の日本経済は、東日本大震災後の混乱や夏場の電力問題を乗り越え着実に回復基調を強めていたが、昨秋以降、欧州債務危機の深刻化、歴史的超円高の定着、そしてタイの大洪水といった「下押し圧力」が増し、景気は足踏み状態に入った。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、主要需要先である自動車業界が一丸となって度重なる苦難を乗り越え、年度下期より自動車生産が堅調に推移したことにより、主力のダイカスト向け需要が前年度比微増となったものの、平成23年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,483,200トン(対前年度比99.3%)と前年度比微減が見込まれる。

このような状況の中で、平成24年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、欧州債務危機、為替・原油価格の動向等が懸念されるものの、東日本大震災からの回復やエコカー減税・補助金等による自動車需要の喚起が予想され、四輪完成車生産が堅調に推移することが期待されるため、プラス成長が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、圧延品需要において住宅関係の政策効果等により建材向けの伸びが期待されるため、プラス成長が見込まれる。
- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が前年度を下回ることが予想されるため、マイナスが見込まれる。

以上の状況から平成24年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、2年ぶりのプラス成長となる1,508,100トン(対前年度比101.7%)と策定した。

また、平成24年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、229,500トン(対前年度比100.7%)が予想される。

平成 24 年 度

アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

平成 24 年 3 月 23 日

(社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項 目	平成 22 年度	平成 23 年度実績		平成 24 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	284,590	271,500	95.4	274,900	101.3
ダイカスト	895,500	896,900	100.2	916,800	102.2
圧 延	195,098	196,600	100.8	200,900	102.2
鉄鋼・その他	118,100	118,200	100.1	115,500	97.7
計	1,493,288	1,483,200	99.3	1,508,100	101.7

注 1) 輸入地金を含む。

注 2) 平成 14 年 1 月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

平成 24 年 度

鑄物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項 目	平成 22 年度	平成 23 年度実績		平成 24 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	160,055	161,100	100.7	161,500	100.2
ダイカスト	68,093	66,700	98.0	68,000	101.9
計	228,148	227,800	99.8	229,500	100.7

注 1) 輸入地金を含む。